

第2類医薬品

ご使用に際して、この説明文書を必ずお読みください。
また、必要な時読めるよう大切に保管してください。



アレルギー用薬

スラジン[®]シロップ

じんましん・鼻炎に

スラジンシロップは…

- 抗ヒスタミン作用のあるクロルフェニラミンマレイン酸塩、血管収縮作用がありアレルギー性疾患の改善に用いられるdl-メチルエフェドリン塩酸塩やビタミンB₆が配合され、じんましん、湿疹・かぶれ等によるかゆみ及び鼻炎などのアレルギー症状に効果があります。
- 芳香のあるうすいオレンジ色のシロップです。

⚠ 使用上の注意

⊗ してはいけないこと

(守らないと現在の症状が悪化したり、副作用・事故が起こりやすくなります)

1. 本剤を服用している間は、次のいずれの医薬品も使用しないでください
他のアレルギー用薬、抗ヒスタミン剤を含有する内服薬等(かぜ薬、鎮咳去痰薬、鼻炎用内服薬、乗物酔い薬等)
2. 服用後、乗物又は機械類の運転操作をしないでください
(眠気等があらわれることがあります。)
3. 長期連用しないでください

👤 相談すること

1. 次の人は服用前に医師、薬剤師又は登録販売者にご相談ください
 - (1) 医師の治療を受けている人。
 - (2) 妊婦又は妊娠していると思われる人。
 - (3) 授乳中の人。
 - (4) 高齢者。
 - (5) 薬などによりアレルギー症状を起こしたことがある人。
 - (6) 次の症状のある人。
排尿困難
 - (7) 次の診断を受けた人。
心臓病、高血圧、糖尿病、甲状腺機能障害、緑内障
2. 服用後、次の症状があらわれた場合は副作用の可能性があるので、直ちに服用を中止し、この文書を持って医師、薬剤師又は登録販売者にご相談ください



関係部位	症 状
皮 膚	発疹・発赤、かゆみ
消 化 器	吐き気・嘔吐、食欲不振
泌 尿 器	排尿困難

まれに下記の重篤な症状が起こることがあります。その場合は直ちに医師の診療を受けてください

症状の名称	症 状
再生不良性貧血	青あざ、鼻血、歯ぐきの出血、発熱、皮膚や粘膜が青白くみえる、疲労感、動悸、息切れ、気分が悪くなりくらっとする、血尿等があらわれる。
無顆粒球症	突然の高熱、さむけ、のどの痛み等があらわれる。

3. 服用後、次の症状があらわれることがありますので、このような症状の持続又は増強が見られた場合には、服用を中止し、この文書を持って医師、薬剤師又は登録販売者にご相談ください
口のかわき、眠気
4. 5~6日間服用しても症状がよくなる場合は服用を中止し、この文書を持って医師、薬剤師又は登録販売者にご相談ください

〔効 能〕

じんましん、湿疹・かぶれ等によるかゆみ、鼻炎

〔用法・用量〕

下記の1回服用量を服用します。服用間隔は4時間以上おいてください。

年 齢	1回服用量	1日服用回数
大人(15才以上)	10mL	2回
11～14才	7.5mL	
7～10才	5mL	
3～6才	2.5mL	
3才未満	服用しないでください	

★添付の計量カップをご使用ください。

〈用法・用量に関連する注意〉

- (1)定められた用法・用量を厳守してください。
- (2)小児に服用させる場合には、保護者の指導監督のもとに服用させてください。

〔成分・分量と働き〕10mL中

成 分	分 量	働 き
クロルフェニラミン マレイン酸塩	3mg	抗ヒスタミン作用により、じんましん、湿疹・かぶれなどによるかゆみ及び鼻炎に効果をあらわします。
dl-メチルエフェドリン塩酸塩	12.5mg	交感神経に働き、血管を収縮させることにより、じんましん、湿疹・かぶれなどによるかゆみ及び鼻炎に効果をあらわします。
ビタミンB ₆	5mg	皮ふの代謝に関与し、じんましん、湿疹・かぶれなどによるかゆみ及び鼻炎に効果をあらわします。

添加物として、白糖、安息香酸Na、クエン酸、黄色5号、香料(グリセリンを含む)を含有します。

◎保管及び取扱い上の注意

- (1)直射日光の当たらない湿気の少ない涼しい所に密栓して保管してください。
- (2)小児の手の届かない所に保管してください。
- (3)他の容器に入れ替えないでください。
(誤用の原因になったり品質が変わるおそれがあります。)
- (4)使用期限をすぎた製品は、服用しないでください。
- (5)甘味成分のためキャップが開けにくくなる場合がありますが、このようなときは、一度キャップ部を温湯に浸してから開けてください。



◎早くよくなっていたいただくためのアドバイス

1. **食べ物**(肉・魚など)でじんましんが起きた時は、その食べ物はとらないようにしましょう。日頃からバランスのとれた食事に心がけ、強い香辛料をさげ、消化のよい食べ物を取りましょう。
2. **患部**はかかないようにしましょう。かくと化膿などを起こし、悪化するおそれがあります。
3. **入浴**はぬるめのお湯にしましょう。熱いお風呂に入るとかゆみが強くなる場合があります。
4. **便通**を整えましょう。原因となった食べ物などを早く排出させるために大切なことです。また、下痢などの胃腸障害もじんましんをひき起こすことがありますので胃腸をこわさないように注意しましょう。



副作用被害救済制度のお問い合わせ先
(独)医薬品医療機器総合機構
<http://www.pmda.go.jp/kenkouhigai.html>
電話 0120-149-931(フリーダイヤル)

本製品についてのお問い合わせは、お買い求めの
お店又は下記にお願い申し上げます。
佐藤製薬株式会社 お客様相談窓口
電話 03(5412)7393
受付時間：9:00～17:00(土、日、祝日を除く)

製造販売元
佐藤製薬株式会社
東京都港区元赤坂1丁目5番27号